

## 【奨励賞】

私ができること。

甲賀市立水口中学校の生徒の作品

みなさんLGBTQ+というものをご存知だろうか。いわゆる女性愛者、男性愛者、両性愛者、心と体の性が一致していない人などのことを指します。

私はその内のBバイセクシュアル、両性愛者です。私は女の人を好きになります。それに気がついたのは5年生のころです。私が外国から日本に帰国してはじめて好きになった子が女の子でした。その時私はとてもおどろきました。家のパソコンで調べました。私が女の子を好きになるとこの時初めて知りました。そしてある日ショート動画を見ていると「HSPとは」というのが出てきて気になるので調べてみると、どうやら私がそのHSPというものだと分かりました。HSPというのは神経が細やかで感受性が高い人のことを指すようです。

ある日私が友だちに、「私女の子を好きになるタイプなんよなあ」とさりげない感じで打ち明けてみた。そしたら友だちが、「何それ気持ち悪<sup>わる</sup>。もしかして私のこと好きとかやめてよ？キモいから」と言われてしまった。意味が分からなくて、悲しくて、自分がまちがっているような気がしてすごく悲しかった。どうして？って思った。その個性なのにどうして気持ち悪いとか言えるのだろうか。自分が言われたらどんな気持ちになるのか考えた発言なのか。同時に少し腹が立った。

ある日、母と2人で祖母の家に行っていました。行きの車で母に一応、私が女の人を好きになるということを伝えてみました。そしたら母は「大丈夫いつか変わるかもしれない。それに私はあなたに男の人と結婚してほしいな。」とフォロー+お願いをされてしまいました。母は私が女性を愛することに納得していませんでした。少し悲しさを感じました。

私が友だちに「HSPって知ってる？私それなんだ」と言った時もそうでした。友だちは、「ねえ、人と違っているのをかっこいいと思ってる？やめなよ？そういうのキモいから」少しドキッとした。もしかしたら、私、人と違う個性それもマイノリティに関するものがかっこいいと思っているのかもしれないと思いました。でも、あとあと考えると、人と個性が違うのは当たり前だし、性的マイノリティだって人と違うのは当たり前。それでも気にする人はいるし、その人がわざわざ気にしてしまうようにさせるような発言をする人だっていると思います。相談にのってくれる人もたくさんいるけど、なかなか打ち明けられない人だっている。だからこそ私はそういう人たちを助けたいと思いました。

私はバイセクシュアルという個性を生かして、性的マイノリティについてな

やむ人たちを助けたいし、ほかの人たちにも世の中にはこういう理由ですごく  
なやんでいる、何も知らない人たちから傷つくような発言をされて悲しんでい  
る人たちがいるというのを理解を持って知ってほしいし、そういう人たちが、  
くらしやすい世の中にしたいと思っています。そしてあともう一つ、HSPの  
特ちょうで、「相手の気持ちになって物事を考えられる」というものがありま  
す。だから私はこの特ちょう、個性をいかして性的マイノリティについてなや  
む人たちの相談も聞けるようになりたいです。世界中のみんなが自由に、かつ、  
性的マイノリティに関する事でなやむ人たちが胸はって生きていけるよう  
な、みんながくらしやすい世の中にしたいです。